

11月28日、国土館大学経営学部 税所ゼミの研究発表会がZOOMにて開催されました。弊社山崎が審査員として参加しその様子をお伝えします。

税所ゼミは、経済、株式、資産運用の研究の一環として、毎年、「日経ストックリーグ」への参加もかねて発表会を行っています。

今回は「海の環境汚染として、プラスチックが与える影響」をテーマに、学生がアイデアを創出し、実際のポートフォリオを構築していきました。

今年起きたモーリシャス沖合でのタンカー重油流出事故は、かなり大きなニュースでした。しかし、日本国内での報道がかなり少なかったことが驚きでした。

学生は、企業を選定する際に、企業業績のみならず、SDGsの観点からも、独自のフィルターを選定し、「海の環境汚染」をテーマにポートフォリオを構築していきました。

学生の視点は、今ここにあるようです。

海の環境汚染 ～プラスチックが与える影響～

学部：経営学部
チーム名：ドラゴンチーム
指導教員：税所 哲郎

投資テーマの決定と理由

2. 投資テーマ決定の理由

- ・ **プラスチック**は海洋汚染の大きな原因である。
- ・ **利用を減らすこと**、**再利用**や**再使用**する事が海洋汚染の抑制に繋がる。

テーマ：海の環境汚染

プラスチックによる海の環境汚染の抑制に取り組んでいる企業への投資を決定。

2016年ダボス会議（世界経済フォーラム）において、2050年には海洋中のプラスチック量が、魚の量以上に増加する試算が公表されている。

